

ドイツ バイエルン州 ブルックミュール高校 重野 さん

留学期間：R1.9～R2.7（1年間）

私はドイツのバイエルン州のブルックミュール高校に長期留学として滞在しています。まだ滞在を始めて4カ月しかたっていませんが、その中でたくさんのことを学びました。価値観の違いや考え方の違いなど驚くべき点がたくさんありました。新たな発見があったりするので日々の生活がとても楽しいです。

初めの1カ月は苦勞する日々でした。言葉が分からず、自分の言いたいこともうまく伝えられず、とても大変でした。すごく落ち込んでしまう時もありました。しかし、1カ月が経った頃、だいぶ耳も慣れてきて、喋れるようにもなりました。少しずつですが、自分が言いたいことが他の友達に伝わった時はとても嬉しかったです。またホストファミリーとも初めて会った時からドイツ語で話していましたが、なかなか相手が言ってる意味を理解することができませんでした。しかし、なるべくドイツ語を使って会話していく中で、だんだん理解ができるようになりましたし、喋れるようにもなりました。

私が現段階で留学中に学んだことは、価値観の違いと考え方の違いです。私がたまに席を譲ろうとすると、「そんなに親切にしないで！」と言われてしまいました。日本では席の譲り合いが当たり前でしたが、ドイツではそうでもないということに驚きました。また、ドイツでは、1人1人自分の意見をストレートに言うので、よく意見のぶつかり合いが起こります。私も実際、ホストシスターと意見のぶつかり合いが起こります。私がこのことから思ったことは、ドイツの人々は、まず自分のことを優先するのではないかと考えました。そして、たまに自分のことばかり優先してしまうあまり、周りのことが見えていない時もあると分かりました。私にとっては周りのことも考えながら行動するというのが当たり前だったので、このことを知ってとても驚きました。

私が、今頑張っていることは、なるべくドイツ語で会話をするということです。英語圏ではない国に来ているため、すべてを理解し、すべてをドイツ語で伝えるということがとても難しいですが、時々英語と混ぜながら、時にはドイツ語での言い方を聞いてからドイツ語で伝えるなどして頑張っています。

そして、今回10か月間という長い留学期間を与えてくださった家族、友人、親戚の皆様、学校、先生方、そして、私の留學生活に支援をしてくださっているふるさと納税支援者の皆様、このような素晴らしい留學期間をありがとうございます。あと残り7カ月、長いようで短い時間を大切に、たくさんことを学び、吸収し、一生の思い出となるような留學期間にできるよう精一杯勉強していきます。



ホストシスターとハロウインのかぼちゃ作り



世界中からドイツへ来ている留学生と



学校の友達と



クリスマス時にホストファミリーと